

1 本時の授業記録

授業者の様子（発問・指示・援助）	児童の様子
<p data-bbox="209 264 919 353">1. 具体的に自由について想像することで、問題意識をもつ。</p> <p data-bbox="204 387 935 461">T：「明日の1校時は自由にしよう、と言ったら、何をしたいですか。」</p> <p data-bbox="204 584 724 618">T：「実際にやるとなったらどうですか。」</p> <p data-bbox="204 947 863 1021">T：「自由と言ったのに、できない物もありますね。」 「自由ってなんだろう。」</p> <p data-bbox="284 1025 866 1059" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めあて：「自由」とはどういうことか考えよう</p> <p data-bbox="209 1093 919 1167">2. 自由か自分勝手に分かれて、議論する。</p> <p data-bbox="427 1211 794 1245" style="text-align: center;">～教師による教材文の範読～</p> <p data-bbox="204 1290 584 1323">T：「どのような話でしたか。」</p> <p data-bbox="204 1447 935 1559">T：「鈴木さんの『人に迷惑をかけないように気をつけて自由におしゃべりしましょうよ。』という気持ちは、わかりますか。」</p> <p data-bbox="204 1570 667 1603">T：「この発言の内容は自由ですか。」</p> <p data-bbox="204 1615 935 1760">T：「今日は自由について考えてみましょう。」 「自由だと思う立場と、自由ではないと思う立場に分かれて議論をします。時間が来たら立場を交換して、話し合みましょう。」</p> <p data-bbox="204 1805 935 1883">T：「少し時間を取ります。それぞれの立場に立って、自由なのか自由でないのか、考えてみましょう。」</p> <p data-bbox="204 1928 863 1962">T：「それぞれの立場から、意見を述べてください。」</p>	<p data-bbox="963 387 1342 517">C：「校庭で野球。」 C：「校内かくれんぼ。」 C：「教室で絵を描き続ける。」</p> <p data-bbox="963 573 1430 887">C：「校内かくれんぼは、他のクラスに迷惑。」 C：「野球は窓ガラスが割れるかもしれない。」 C：「野球のルールがわからない人もいる。その人にとっては自由でなくなる。」</p> <p data-bbox="963 1312 1430 1435">C：「一人はできるだけ寝ようと言ったが、だんだんとエスカレートしていった。」</p> <p data-bbox="963 1491 1310 1525">C：多くの児童がうなずく。</p> <p data-bbox="963 1581 1430 1659">C：うなずく児童、考えている様子の児童がいる。</p> <p data-bbox="963 1671 1430 1704">C：机の向きを動かし、向かい合う。</p> <p data-bbox="963 1816 1366 1850">C：個人で自由について考える。</p> <p data-bbox="963 1951 1430 2074">C：×「人に迷惑をかけないようにと言っているが、他の班の人は寝ているのに、それでもしゃ</p>

T : 「ここで立場を入れ替えて変えてみましょう。」
「2、3人で話し合ってみてください。」

T : 「制限があったら、自由ではない？」

べっているのは自分勝手。」

- 「自分勝手なのはわかるが、自分のやりたいようにやるのは自由だ。」
- × 「決められたルールの中でなら、いいと思う。」
- 「迷惑をかけないように気をつけているから、自由。みんなだって賛成していた。」
- × 「人に迷惑をかけないという制限があるから、自由ではない。制限がないのが自由。」
- 「制限は自分たちで決めたことだし、その制限の中でやっているなら、いいと思う。」
- × 「みんな賛成しているからいいように見えるけれど、本当は嫌だと思っている人だっていたかもしれないから、自由ではない。」

- × 「先生の決めたことを破っている。」
- 「鈴木さん自身がアイデアを出しているから、それは自由だ。」

C : 隣や前後の子同士で話し合う。

- × 「誰にも制限されないことが自由だから。」
- 「自分がおしゃべりしたいと思っているのだからいい。人に迷惑をかけることも自由。」
- × 「人に迷惑をかけないように気をつけようと思っている時点で、他の人にとっては迷惑だとわかっているということ。」

- 「制限があっても自分が自由だと思っているなら自由。」
- 「私にとっての自由は、制限の

T : 「今話している『自由ではない』は、何か別の言葉に置き換えられますか。」

T : 「自由と自分勝手はどう違うのでしょうか。考えを書いてもらいたいと思います」

T : 「自由と自分勝手との違いは何ですか。友達の意見も借りて、自分の考えをワークシートに書いてください。」

～ワークシート配布～

～机間指導、赤ペンで児童の考えを評価～

T : 「みなさんの考えを聞かせてください。」

(児童の意見を板書し、自由と自分勝手について出た意見を確認する。)

T : 「自分の中ではどう考えますか。様々な意見が出てきましたね。」

ないこと。人に迷惑をかけないよう、静かに話せばいい。簡単にできることは、制限ではない。」

C : 「自分勝手。」

C : 机を元の向きに戻す。

C : ワークシートへの記入

・「自分勝手」…ほとんどの児童が同様の回答

・「自由」…人それぞれ捉え方が違う

C : 「自分勝手は、相手の考えを自分の考えで決めてしまう。」

C : 「自由は一人ではなくて、みんながやりたいと思ったこと。自分勝手だと、自分の意見と違ってそのまま進めてしまう。」

C : 「自由とは、人に迷惑をかけないなどの、規則とは別に当たり前のマナーの中でやるもの。」

C : 「人に迷惑をかけたり、傷つけたりするのは自分勝手。」

C : 「何も考えず、自分さえよければいいのは自分勝手。自分がやりたいことをやりたいようにやるのは自由。」

C : 「当たり前の制限の中で、やりたいことをやるのがいいと思う。」

3. これまでの自分を振り返って、これからの自分を見つめる。

T : 「最後に、今までの自分を振り返って、過去にあったことをワークシートに書いてみましょう。自分に問いかけてみてください。」

T : 「聞いてみてもいいですか。」

4. 教師の説話を聞く。

T : 「自由とはどういうことなのか、ということこれから生きていく中で役立ててほしいと思います。何をやってもいい、ということはない。自由と自分勝手の違いを、自分の中でもってほしいです。」

T : 「先生から、福沢諭吉さんの言葉を送ります。」

自由と我儘との境は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にある

T : 二人の人に感想を言ってもらいます。

C : ワークシートへの記入

C : 「みんなで遊ぶ時、少数派の人の意見に耳を傾けずに決めていた。全ての人意見に耳を傾けるようにしたい。」

C : 「ノートを買ってきてと言われたのに、別の物を買った。ルールを破ってしまったのは自分勝手だった。」

C : 「昔の時代でも、自由とわがままの違いを考えることがあったんだ。」

C : 「他人に迷惑をかけることとかけないことの間にあるということは、自由にもルールがあるということだと思う。」